

第5章 本市におけるこれからの教育

1 今後の宇都宮市における教育の推進にあたって

これまでの本市の取組とその成果

現在、本市におきましては、全国に先駆けて導入した「小中一貫教育・地域学校園」制度や、「魅力ある学校づくり地域協議会」、「宮っ子ステーション」など学校、家庭、地域が一体となつて児童生徒を育む独自の教育システムを推進するとともに、市独自で、学校図書館司書、学校栄養職員、かがやきルーム指導員を全校に配置するなど550名を超える会計年度任用職員を学校に配置し、中核市トップレベルの人的環境を整備しながら、学力向上や心の教育などの施策を充実させ、生きる力の育成を図ってきたところであり、その成果は第3章に記したとおり、知・徳・体のバランスのとれた成長につながっています。

私たちの予測を超えて変化するこれからの社会

これからの社会は、人口減少・人口構造の変化をはじめ、Society 5.0やデジタルトランスフォーメーション等の情報社会・科学技術の進展、SDGsの達成への貢献などの社会潮流のほか、新型コロナウイルス感染症の影響や台風などの自然災害の激甚化など、私たちの予測を超えた変化が起こることが想定されることから、学校で学んだことを絶えず更新しながら、それをもとに多様な人々と協働して新たな価値を創造していくことが求められています。

「スーパースマートシティ」の実現に向けて

本市で学ぶ児童生徒に、これからの社会を生きる上で必要な資質・能力を身に付けさせることができるよう、第2章に挙げた「学校教育を取り巻く状況」を踏まえ、県都、中核市として、多くの市民のニーズに幅広く応える、バランスのとれた計画を策定します。そして、教職員の一層の資質・能力の向上を図り、豊富な人材を最大限活かすとともに、「小中一貫教育・地域学校園」制度をはじめとする本市独自の教育システムを総合的に展開することにより、本市が目指す「スーパースマートシティ」の実現に向け、その原動力となる「人」づくりを一層推進します。

2 基本理念

※基本理念は、前期計画から変更せず継承しています。

**誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校で、
自信と志をもち、ともに支え合いながら未来を担う宮っ子を育みます。**

誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校

児童生徒は一人一人が異なる教育的ニーズをもっており、学校はそうした誰もが安心して学べる場所でなければなりません。

「誰もが安心して学べる学校」とは、教育への情熱と使命感をもった信頼できる教師集団が、多様な教育的ニーズをもった児童生徒一人一人の状況を理解し、適切な指導・支援を行うとともに、充実した教育環境を備えた学校です。

また、子供たちは、家庭はもとより地域にとっても未来を託す大切な存在であり、そうした子供たちを学校、家庭、地域がそれぞれの役割を自覚し、責任をもって育てていくことが求められています。

「活力にあふれる学校」とは、家庭、地域、企業との連携・協力を深め、児童生徒はもちろん、教職員、保護者、地域の皆様など、全ての人が自己のよさを生かせるよう、創意工夫した教育活動や学校運営を展開する学校です。

自信と志をもち、ともに支え合いながら未来を担う宮っ子

近年、グローバル化や情報化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて加速度的に進展するようになってきています。また、21世紀は「知識基盤社会」とも呼ばれており、これからの未来を担う子供たちは、どのような変化にも対応できるよう生涯にわたって学び続けることが必要です。

「未来を担う宮っ子」とは、生涯学び続けていく上で基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力を身に付け、未知の状況においても課題を克服できるという自信と、自らの夢の実現や社会貢献を指向する志をもち、将来、他者と協働して困難を乗り越え、よりよい社会を創り、これを支える自覚と責任をもった児童生徒です。

3 基本目標

1 成長し続けるための基盤を培う

目指す姿

- (1) 児童生徒は、主体的に学習に取り組み、周りの人たちと協力したり、デジタル機器を効果的に活用したりすることなどを通して、確かな学力を身に付けています。
- (2) 児童生徒は、自己肯定感が高く、失敗や困難を乗り越えて挑戦し続けるたくましさをもっています。また、思いやりやルールを守る心を持ち、自他の生命や人権を尊重しています。
- (3) 児童生徒は、自ら考え行動し、心身ともに健康で安全な生活を送っています。
- (4) 児童生徒は、夢や目標を持ち、自らの夢の実現に向けて努力しています。また、集団の中で自分のよさを発揮し、他と協働しながら集団や社会に貢献できるよう努力しています。

2 未来を生き抜く力を養う

目指す姿

- (1) 児童生徒は、英語を使って外国人とコミュニケーションを図る力や多様な文化を理解し、共生しようとする態度を身に付けているとともに、郷土・宇都宮や日本の伝統・文化に愛情と誇りをもっています。
- (2) 児童生徒は、自律した情報の使い手になるために必要となる資質・能力を身に付けています。
- (3) 児童生徒は、少子高齢社会や人権、平和、環境等の現代的な諸課題に向き合い、解決を図ろうとする学習活動を通して、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に参画しようとする態度を身に付けています。

3 児童生徒の様々な状況に応じた指導・支援を行う

目指す姿

- (1) 学校は、特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を最大限伸ばすよう、個に応じた支援の充実を図っています。
- (2) 学校は、いじめの根絶や不登校の未然防止に努めるなど、児童生徒が安心して過ごせる教育環境を整えるとともに、家庭や地域、関係機関と連携・協力しながら、児童生徒の個々の状況に応じた支援を行っています。
- (3) 学校は、外国人児童生徒等に対して、自立して生きる力の基盤を育むとともに、安心して生活できるよう支援しています。
- (4) 学校は、「性的マイノリティ」や家庭における虐待、貧困、ヤングケアラーなどに対し、関係機関と連携・協力しながら、多様な教育的ニーズがある児童生徒の状況に応じた支援を行っています。

4 教職員がいきいきと勤務できる環境を整え、信頼される教職員を育てる

目指す姿

- (1) 教職員は、自己研鑽に努め、高い指導力と専門性を身に付けるとともに、強い使命感や情熱をもって日々の指導を行い、児童生徒、保護者、地域の方々から頼られる存在となっています。
- (2) 学校は、多様な専門性を有する学校スタッフを効果的に活用し、校長のリーダーシップのもと、全ての教職員が力を発揮し、チームとして協力し合いながら指導にあたっています。
- (3) 学校は、デジタル機器を活用するなどしながら、業務の効率化を進めています。また、教職員は、児童生徒と向き合う時間を確保し、心身ともに健康な状態で職務を遂行しています。

5 地域とともにある学校づくりを進める

目指す姿

- (1) 学校や地域学校園は、「小中一貫教育・地域学校園」制度等の本市独自の教育システムを有効に活用しながら、常に教育水準の向上に努めています。
- (2) 学校は、校長のリーダーシップのもと、全教職員が協働し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開しています。また、保護者や地域の声を学校評価に生かし、学校経営の改善に努めています。
- (3) 学校は、家庭や地域、幼児教育施設や企業等と連携を深めながら、目標を共有し、よりよい児童生徒の育成に向けて取り組んでいます。

6 新しい時代にふさわしい教育環境を整える

目指す姿

- (1) よりよい教育環境の確保を図りながら、生活様式の変化への対応やバリアフリー化の推進、脱炭素社会の実現など、多様化する社会的ニーズにも配慮された学校施設で、児童生徒をはじめ、利用者が安全・快適に過ごしています。
- (2) 1人1台端末の活用や校務のデジタル化の推進に向けた環境が整備されています。

第5章 本市におけるこれからの教育

